Nishitokyo City
西東京市 議会だより

第43号
平成22年8月15日
（2010年）

〒188-8666 西東京市南町5-6-13　042-464-1311　編集／議会報編集委員会　発行／西東京市議会



平成22年
第2回定例会

紙面の紹介（今号のもくじ）

○一般質問の要旨・用語の解説 ‥ 2～6面
○委員会・予算の審査から …… 7面
○委員会視察リポート …… 8～9面
○議案等の議決結果、意見書、会議の開催状況、編集後記等 …… 10面

写真の紹介

「西原自然公園」

太陽の光をいっぱい浴びた木々の道を歩いて行くと・・・
美しい樹木の空間に出会えます。

○第2回定例会 会期…6月4日（金）～6月21日（月）18日間

	審議件数	可決・採択	否決・不採択	継　続	取り下げ
議　案	20	20			
条　例	6	6			
予　算	1	1			
その他	13	13			
議員提出議案	6	5	1		
請　願	2	1		1	
陳　情	12	6	2	3	1

※「可決･採択」には、同意、承認、趣旨採択を含んでいます。

主な議案等

◇「保育所設置条例の一部を改正する条例」
そよかぜ保育園（ひばりが丘団地内）を新設、田無乳児保育園を廃止
（いずれも平成23年4月から）
【可決】⇒ 詳しくは7面「委員会の審査から」をご覧ください。

◇工事請負契約の締結について
＊保谷駅南口ペデストリアンデッキ（Ⅲ期）・交通広場築造工事
（契約金額　6億511万5,000円　工期は平成24年3月まで）【同意】
＊すみよし保育園園舎建替工事（建築工事）
（契約金額　2億1,598万5,000円　工期は平成23年2月まで）【同意】

◇特別会計補正予算
中小企業従業員退職金等共済事業特別会計補正予算（第1号）
【可決】⇒ 詳しくは7面「予算の審査から」をご覧ください。

「あなたもお茶の間から議会に参加しませんか」

～インターネットで議会（本会議）を簡単に見ることができます！～



市のホームページから、「市議会」→「議会インターネット中継」へとお進みください。今号で紹介している第2回定例会本会議を、ご自宅でご覧になれます。
さあ、あなたもいつでもどこでも議会の傍聴者になれます！！

「声の市議会だより」をお届けしています。
（録音テープ）
お知り合いの方でご希望の方がいらっしゃいましたら
中央図書館（☎042-465-0823）へお問い合わせください。

一般質問（1）

一般質問の要旨

第2回定例会で、28人の議員が行った一般質問の主な内容です。各議員が執筆し、その責任のもとに掲載しています。

※詳細は、8月中旬に発行予定の会議録をご覧ください（市内各図書館・両庁舎情報公開コーナー、議会事務局にあります）

※ホームページでも公開中

凡　例

西東京自由民主党　（自民）
西東京市議会公明党　（公明）
民主党・社民クラブ　（民主・社）
日本共産党西東京市議団　（共産）
生活者ネットワーク　（生ネ）
無所属　（無所属）

ひばりヶ丘駅北口のまちづくりと通学路の安全確保について

田中　のりあき（自民）

質問　ひばりヶ丘駅北口のまちづくりを進める上で、駅周辺の共同ビル化は非常に重要であるが、どのように考えているのか。

答弁　街区再編まちづくり制度を説明し、機運が高まった地区の地元地権者の話し合いに専門家を派遣し、合意形成を後押ししたい。

質問　都市計画道路用地内の地権者には、住宅としての利用を望む方もいる。商業施設と同様のルール適用は難しいのではないか。

答弁　住宅として土地利用を続けたい方には、一定の配慮が必要と考えている。

質問　調布保谷線のトンネル工事が始まっているが、通学路の安全確保について、どのように対応するのか。

答弁　教育委員会として、学校、保護者、地域の方々と連携をして、子どもたちへの注意喚起を呼びかけ、都や工事関係者に対し、子どもたちの安全が最大限確保されるよう、ガードマンの配置など、さまざまな安全配慮をお願いしていく。

質問　工事渋滞の抜け道として、スクールゾーンへの車両の進入が懸念される。また、工事の進捗の把握は。

答弁　進入車両への対応について、田無警察に取り締まり強化を要請する。都や工事関係者、さらに学校と連携し、情報を把握する。

これまでの質疑の検証と進捗状況 市民要望実現に向けた取り組みを

大塚　光男（自民）

老人クラブと介護サービス

質問　老人クラブへの加入率向上や支援策及び介護サービスの質的向上に対する支援などの取り組み状況は。

答弁　加入を市報で周知し、施設の一部を連合会事務局の執務室に利用できるようにし、補助金の見直しなど環境を整備した。介護については支援計画を作成し、計画的に研修を実施した。

はなバスの見直しについて

質問　第5ルート（泉町・住吉町）の見直しを。

答弁　地域交通会議で運行時間の延長は検討している。見直しは秋ごろ実施したい。

住吉町の都住跡地について

質問　近隣住民や諸団体への暫定使用を庁内検討で。

答弁　都は有償が原則と回答。今後も引き続き検討。

交通安全対策について

質問　本町小と保谷小周辺の安全を確保せよ。

答弁　4月に発生した事故は大変残念に思っている。関係機関との連携を強化し安全確保に努めていく。

国体、教育現場での「ディーボール」の取り組みは

質問　提案した地域資源の「早大」の活用等の状況は。

答弁　活力ある地域づくりを目指し、国体に向け広く市民が参加できるよう取り組む。小学校13校、中学校2校で授業予定。新教材であり指導者を育成したい。

風土をつくる屋敷林の保全対応は 道路買収による残地処分の対応は

鈴木　久幸（自民）

質問　市が買収した都市計画道路の残地処分について市はどのように考えるのか。

答弁　形状や面積などにより市が活用できないときには、隣地の方からの希望により売却することもある。

質問　新しい道路ができて既存道路が寸断されると、住宅地では生活環境が変わる可能性がある。交通安全などの対策は、どのように考えているのか。

答弁　地元住民や田無警察と協議して改善を図りたい。

質問　東小学校の1年生は1クラスであり、碧山小学校は4クラスである。両校は通学区域が隣接しているので、学級の均等化が図れないのか。

答弁　学校運営上、一定の児童数は必要だが、均等化するために、区域を越えて学級を編制するのは困難だ。

質問　西東京市の風土をつくっている屋敷林の保全は必要だと考える。市はその保全のため固定資産税を軽減する考えはないのか。

答弁　税制上の優遇措置はないが、補助金による助成策を講じている。

意見　屋敷林を市として、どのような形で残していくのか、その対応に期待する。

質問　ごみ中間処理施設・柳泉園組合の経費節減が求められてくる。市の対応は。

答弁　課題等調査研究する。

子どもオンブズパーソンは不要だ 田無駅東側踏切の拡幅を

海老沢　進（自民）

国民保護計画の実効化を

質問　核兵器開発を急ぐ北朝鮮、宇宙や海洋で軍事拡大に走る中国など世界の現実を認識し、当市の国民保護計画を実効化させるには。

答弁　国の全国瞬時警報システム導入に向け準備を進めている。今年度もテロ対応訓練を実施予定である。


調布保谷線のトンネル工事(住吉町5丁目付近)

「子どもオンブズパーソン制度」は不要だ

質問　オンブズパーソンは特殊な造語であり、条例で使うべきではない。また市組織への介入権限が強大な一方、子供（または親）同士の権利トラブルに対応しがたく、必要性はない。

答弁　用語は検討していく。条例制定に向けた中間報告では、子どもの権利侵害救済や回復のために第三者機関として必要とされている。

田無駅東側踏切の拡幅を

質問　混雑時に歩行者が車や自転車と接触したり、線路上にはみ出て歩く危険な現状に対する改善策は。

答弁　都や鉄道会社に踏切の拡幅や一層の安全対策を要望していく。

田無駅北口ペデストリアンデッキの活用を

質問　まちの活性化のため、もっと活用すべきだ。店舗沿いに雨よけの屋根設置は。

答弁　市が共催するイベント等に活用できるようにしたい。屋根は構造的に困難。

緑・きれいな空気・新鮮な野菜 市民の命を守る農業を振興せよ

遠藤　源太郎（自民）

質問　ＩＨＩ跡地Ｂ敷地が転売された。地区計画変更手続と住民説明会をせよ。

答弁　説明を事業者に求め、手続は条例により行う。

質問　ＩＨＩ跡地開発周辺道路の横断歩道等の住民要望に長期間応えていないが。

答弁　田無警察に改めて要望と状況確認をする。

質問　ＩＨＩ跡地の開発地域に設置されるはなバス停留所の位置はどうするのか。

答弁　具体的な位置は、今後、関係機関と協議する。

質問　田無高校南側の「緑と歴史の散歩道」は、当初の目的が風化し危険である。

答弁　車と自転車の事故防止対策を検討したい。

質問　公園等の雑草は、結実する前に除草せよ。回数も年2回から3回にふやせ。

答弁　全地域では難しいが、状況を把握し、努力する。

質問　農産物の地産地消は市民参加や協働で。持続のため行政が積極的に関与を。

答弁　農業者、市民、行政が一体となった都市と農業が共生したまちづくりを推進し、都市農地を保全する。

質問　毎年小学校の運動会を見て感動しているが、男女混合の徒競走は気になる。特に高学年は、第2次成長期や男女の発達の違いが配慮されていないのでは。

答弁　学校の自主性を尊重しつつ今後研究していく。

行政は短期・長期の目線をもって 市民要望の着実な実施を!!

稲垣　裕二（自民）

教育長　自校方式については、今後の課題として承る。

質問　以前の説明では平成23年4月が開始予定であったが、中間報告ではなぜ、平成23年9月になったのか。

教育長　調理業務委託の必要人員手配及び調理機器操作習熟に期間が必要である。

質問　地場野菜の活用は。

教育長　できるだけ地元産の安全で高品質な農産物を用いていきたい。

（仮称）東伏見市民サービスプラザについて

質問　今年度、市はどのような取り組みをしたのか。

市長　これは、空き店舗を活用した施設であり、公共施設としての機能のほか、地域活性化の拠点として地域住民の協力をいただくとともに、総合型地域スポーツクラブ関係者とも連携をとり、協議を重ねていきたい。

質問　施設の場所が確保できずに開設できないのでは困る。どう取り組むのか。

市長　早過ぎず、遅過ぎることなくテンポよくやる。

子宮頸がんワクチン助成

質問　都の補助制度を利用し、市でも助成制度を。

部長　見直しが可能ならば、対象にできるか検討する。

中学校給食について

質問　教育委員会として中学校給食は将来どうあるべきかの長期展望は。



一般質問（2）

市内商工建設業の発展について 公園行政・バス停の設置について

小林 たつや（自民）

質問 高齢者、買い物弱者に対し市主導で「御用聞きサービス」を行えないか。

答弁 消費者動向調査を行う際、市民意見を聞く予定。

意見 地元農産物などの宅配も含め、諸問題を解決し、実現することを望む。


谷戸イチョウ公園前の通り（谷戸町2丁目）

質問 市内建設業者へのさらなる保護を行えるか。

答弁 法令を遵守しながら、好循環をつくりたい。

意見 市内業者と話し合いの場を持ち、現状を把握し対応されたい。

質問 市内工業者への保護は。

答弁 融資あっせん・振興事業等への支援をしている。

意見 市内には優秀な企業が多数あるのだから、「匠のまち西東京」というようなまちづくりを考えるべきである。

質問 いこいの森公園の噴水について。

答弁 債権者に事情変更が生じたので、裁判所に保全取り消しの申し立てをした。

意見 子どもたちのために早急な噴水再開を望む。

質問 谷戸イチョウ公園の前と新青梅街道にバス停の設置を望む声があるが。

答弁 バス事業者へ検討するよう依頼している。

意見 市民要望の多いバス停設置の早期実現に向け、地域住民との話し合いも含め対応されたい。

選択と集中の行財政改革を！ いこいの森公園の噴水再開を求む

納田 さおり（無所属）

質問 第3次行革の最大の目的は、できる限り無駄を省き財源を確実に確保することだ。カナダで成功したプログラムレビューを参考に、施策や事務事業を棚卸しし、行政の守備範囲の中で必要なものは残し不要なものはしっかり切っていく明確な選択と集中が求められる。取り組みは。

答弁 より広い視点から行政運営を見直し、資源の適正配分を進めるため施策単位の評価制度を実施し、予算配分に反映させていく。

質問 いこいの森公園の噴水差し止め訴訟について、相手方に事情変更が起きたと聞く。夏場を迎える今こそ、市として噴水再開に向けた積極的な姿勢が重要であるが取り組みは。

答弁 今後の審議状況や判断については予想できず、適宜対応を図っていく。

質問 中原小学校とひばりが丘中学校の建てかえは、学区域の見直しやひばりが丘団地内の敷地活用を想定すると、時期的に検討を進めなければならない段階だ。

答弁 ひばりが丘団地内の敷地は重要な要素であり、両校の建てかえについて慎重に検討を始める。

意見 建てかえされるひばりが丘中学校に、約4千万円かけて給食用エレベーターを設置するのは不適切だ。

子宮頸がん・小児用肺炎球菌ワクチンの公費助成を求める！

佐藤 公男（公明）

青梅街道、府中道の安全を

質問 青梅街道沿いの電柱が歩道をより狭くしている。

答弁 現地を確認し、都や警察に要望する。

意見 府中道と富士見通り交差点の安全のためには、信号機の設置が欠かせない。

脳卒中の早期発見の啓発を

質問 脳卒中は、発症から3時間以内であれば救命率が格段にアップする。市としても啓発活動をすべき。

答弁 都作成のポスターを掲示しており、今後ホームページ等でも啓発していく。

聴覚障害者支援の拡充を

質問 聴覚障害者支援サービスの周知徹底、手話通訳者の配置、「耳マーク」の設置、筆談器の導入を求める。

答弁 効果的な方法を検討し、「耳マーク」、筆談器は導入へ向けて検討する。

ワクチンの公費助成を求める

質問 子宮頸がんワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの公費助成を求める。

答弁 財政状況を勘案しながら医師会とも検討する。

ジェネリックカードの普及

質問 ジェネリック医薬品お願いカードの普及促進を。

答弁 普及促進のため、あらゆる手段を通じ努力する。

放課後子どもプランの実施

質問 当市でも放課後子どもプラン事業を実施すべき。

答弁 あり方を検討し平成23年度を目途に方針を決定。


ジェネリックカード

公費ゼロでバス停を整備し 広告収入で維持管理を！

中田 惠美子（公明）

質問 はなバスの車内アナウンスなど有料広告を積極的に行うべきだ。

また、京都市は経費節減のため、民間による広告付きバス停留所の整備に着手した。広告料収入によって、バス停の設置費や維持管理費を賄う仕組みだ。当市も取り組むべきである。

答弁 広告収入が多く得られるよう努力する。「広告付きのバス停」の設置は、広告収入増加に向け研究する。

質問 幼児2人同乗用自転車購入費助成が、昨年10月から行われている。昨年度は4万円、今年度は2万円だが、実績数は。

答弁 昨年6カ月間で257台、今年2カ月で9台。

意見 安心こども基金は、自転車レンタルに活用できる。基金を使いレンタルにすべきだ。

質問 妊娠しても出産に至らない不育症の方々のために、岡山県真庭市では、治療費に助成を始めた。当市も取り組む考えはないか。

答弁 国や都の動向を注視し、引き続き調査研究する。

質問 文化庁の伝統文化こども教室は、当市において3団体が事業を行っているが、昨年の事業仕分けで平成23年度で事業廃止になる。市独自で継続できないか。

答弁 文化芸術振興計画の策定をする中で検討する。

中学校給食は来年度4月実施を！ 中学校医療費を完全無料化せよ！

小幡 勝己（公明）

質問 義務教育就学児医療費の復活を強く要望する。

市長 子ども手当の地方負担もあり復活は厳しい。

質問 市民は、中学校給食の実施を4月と思っていた。9月からの実施は想定外。給食費支払いは、学期ごとに事前納付でなく、月払いも検討すべきである。

教育長 今後、検討する。

質問 障害者の就労支援に対し官公需発注を配慮するよう厚労省の通知があった。本市の取り組みは。

市長 発注の機会をふやすよう努力したい。

質問 要望した高齢者・障害者が休める「街なかベンチ」設置状況は。

市長 10基設置予定。

質問 高齢者が多く利用する公民館のトイレ洋式化、バリアフリー化、冷暖房空調設備の充実を求める。

教育長 計画的に行う。

質問 不登校の児童生徒が通うスキップ教室の拡充と環境整備の充実をせよ。

教育長 一層充実を図る。

質問 コンビニ内の郵便ポストを近隣に周知徹底すべきで、案内表示も必要だ。

市長 事業者に伝えたい。

質問 視覚障害者、音声認識コードの普及促進をせよ。

市長 調査研究する。

質問 ペットボトルキャップ回収のさらなる周知を。

市長 市として検討する。

風害対策 市長と職員は 住民の身になって仕事を！

新井 五郎（公明）

質問 IHI田無工場跡地の進捗状況、はなバス停留所、ビル風による3月21日の事故に対する対策は。

答弁 マンションは、11月ごろから入居が開始され、病院は秋ごろから工事が開始される予定と聞いている。はなバスの停留所は3カ所を予定。B敷地跡地がキヤノンマーケティングジャパン㈱に譲渡されデータセンターが計画されている。建物完成後に強風等による被害の相談があれば、市は丁寧に対応する必要がある。


IHI跡地開発の進捗状況（向台町3丁目）

質問 国勢調査員の応募状況は順調か。

答弁 1千237名の募集に対して5割弱の応募状況。

質問 民生委員の空白区域をなくす努力をすべきだ。

答弁 81.6％の充足率は他市より低い。より多くの団体等に呼びかけていく。

質問 田無市民公園と向台公園のトイレ改修、公園の池と水辺づくりについて。

答弁 市民公園は、建て替え時期に合わせ調査研究する。向台公園は、本年度、基本設計予定。水辺の公園は、時期に合わせ水を流す。

質問 特定健診の受診者が少な過ぎる。促進対策を。

答弁 2年連続未受診者に勧奨はがきを送付する。今年度は、医療機関の予約の有無と健診日時の詳細を一覧表にして掲載する。

一般質問（3）


東大果樹園の道

子育て中の市民の声「手当」よりも保育環境整備を早急にせよ

岩越　笙子（公明）

市民サービスの利便性確保及び向上を図れ！

質問　住民票・印鑑証明等を電子マネーで行ってはどうか。また、コンビニで交付できないか。来年度から*マルチペイメント納付が本格実施されるが、自宅パソコン・携帯で支払いが可能になるのか。

答弁　先進市を参考に取り組んでいく。来年度から税等の支払いがパソコン・携帯でできるようになる。

質問　待機児解消の具体策を早期に実施すべき！

答弁　来年度中に認可保育園3園、認可園の分園1園の計画がある。保育ママの研修も今年度から実施。

学童クラブの安全対策を

質問　4月21日の学童クラブ帰宅中の痛ましい死亡事故を教訓に、帰宅時間が暗い期間だけでも交通指導員を配置して児童の安全を守るべきではないか。

答弁　登下校時の安全確認については注意喚起してきたが、さらに安全指導を強化していきたい。

不登校ひきこもり相談室「ニコモルーム」継続を！

質問　都のモデル事業で今年度で事業が終了である。唯一の居場所であり、市として今後も継続・充実していくべきではないか。

答弁　あらゆる面から事業のあり方を検討していく。

栄小の校庭に防球ネットの設置と保谷第一小の校庭整備を図れ

佐々木　順一（公明）

子育て応援ショップ制度を

質問　埼玉県の「パパ・ママ応援ショップ制度」は子育て支援のみならず商業振興の面から有効だ。西東京市版として実施を検討せよ。

市長　先進事例を参考に調査・研究に努めたい。

西武線連続立体化事業

質問　市長は商工会で、西武線立体化の道筋をつけたいと話をされた。西武池袋線は大泉学園まで高架化され、保谷駅手前まで完成される。早期に、経済効果などの調査費の予算化を図れ。

市長　事業効果として求められている道路やまちづくりの整理・検討を進めたい。

ミニスポーツ公園の設置

質問　特色ある公園づくりを提案してきたが、北宮ノ脇公園・芝久保三丁目公園に多目的広場やボール広場、健康器具が設置された。スポーツ公園の増設を図れ。

市長　市民ニーズに即した特色ある公園の整備を検討したい。

教育施設の環境整備を図れ

質問　①栄小校庭南側隣接地が宅地開発されている。早急に防球フェンスの設置を図れ。②保谷第一小校庭は水はけも悪くでこぼこがある。早急な対応を図れ。

教育長　緊急性の高いものから環境整備を実施している。指摘の件については、実施に向け検討している。


保谷第一小学校の校庭

住宅地の中でのごみ処理計画　西東京市ならどうする？

森　てるお（無所属）

質問　隣の市で、住宅地に近接した地域にアスベストの中間処理施設を設けるという話が出て、地域住民が反対し、議会も反対の陳情を採択したと聞いている。西東京市は住環境を守る立場から、こういった施設を住宅地に進出させないような対策を講じる必要があるのではないか。

答弁　良好な住環境の確保は住宅都市である西東京として重要な課題だ。土地利用は法、条例で一定の制限がある。現行法では市ができることは限られているので、規制等の方法については調査研究していく。

質問　建築基準法等で決められた基準に合致しないような建物が住宅地の中に存在している。本来建たないはずのものが建っている。住居専用地域についての西東京市としての考え方を出しておく必要があるのではないか。中間処理といっても積みかえ用の倉庫ならできてしまうのではないか。

答弁　市全域が市街化区域として用途制限がかかっている。法、条例に違反するような事例があれば東京都多摩建築指導事務所と連携して対応していく。

意見　一定の業種や業態について制限したり、条例や要綱を整備することも含めて検討していただきたい。


住宅地の街並み

特別支援学級や通級指導学級の条件整備の拡充を求める

保谷　清子（共産）

質問　障害児教育について、教育条件の整備が緊急に求められている。特別支援学級や通級指導学級の増設を求める。

答弁　児童数や学校施設の状況を踏まえ、継続的に検討をしていきたい。

質問　「はなバスルートの見直し」が10月をめどに行われる。それ以外のことについては中期・長期で考えていくとのことだが、公共施設へのアクセス等は切実な要望だ。早期の実現を。

答弁　できる限り早期の実現に向け検討していく。

東伏見駅周辺の商業と文化の振興を

質問　地元商店は、街づくりに大きな役割を果たしている。「商店振興プラン見直し」の進捗状況は。

答弁　地域資源の活用や、農業と商業の連携など、新たな視点が必要である。

質問　東伏見駅北口自転車駐車場に、自転車の「一時置き」を設置するよう市民要望が強い。検討状況は。

答弁　定期契約者の方が契約解除をした場合、新規契約を制限し、一時利用スペースの確保に努めている。

質問　介護保険利用料の低所得者負担軽減について、多摩26市の実施状況を伺う。

答弁　26市中12市で実施している。内容は、住民税非課税世帯に対し、自己負担を5％前後に軽減している。

質問　障害者小規模作業所は日払い制の矛盾を抱えている。市の支援について。

答弁　東京都の包括補助のほか、市としても支援を検討したい。

質問　4月21日、保谷町の路上で小学2年生の児童が学童クラブからの帰宅途中に乗用車にはねられて死亡するという痛ましい事故があった。交通擁護員を配置すべきだ。

答弁　東京都交通安全課、田無警察などの協力をいただき、今月から児童館において、学童クラブ児童を含む児童に対して、安全教室を開催している。交通擁護員の配置について重要性は認識している。研究する。

意見　子どもの肺炎球菌ワクチン・子宮頸がんワクチン接種の助成を重要課題として、学校教育現場において、国旗・国歌の強制は行うべきではない。

答弁　学校の管理運営は、校長の権限である。教育委員会は、学習指導要領に基づき適正に指導する。

子どもの肺炎球菌ワクチン・子宮頸がんワクチン接種の助成を

安斉　慎一郎（共産）

質問　第3次行革に当たっては、市民生活を守る視点こそ最重要だ。行き過ぎた事務委託化やそれに伴う職員削減により、市民サービスの低下や行政の空洞化が生じることがあってはならないと考えるが。

答弁　コスト削減のみを追求することでなく市民サービスの質の確保を図る。

質問　東大農場には、準絶滅危惧種であるオオタカが長年生息するなど多くの動植物が生育し、絶滅危惧種のマヤラン・キンランをはじめ、植物約600種、昆虫約700種以上が確認されている。豊かな自然環境を未来に残すため、調査・保全に努めるべき。

答弁　東大との協議の場を通じ、環境保全面で適切に配慮されるよう働きかける。

意見　開発規制と緑の保全、農場部分の都市計画道路の再検討を強く求める。

質問　北原地区会館は、市内で最も古い公共施設でもあり、早期に建てかえ計画を立てることが必要では。

答弁　対応策を検討する。

質問　中学校給食を4月開始とするよう準備を進めよ。給食は教育の一環であり、中学校栄養士は当然正規職員とすべきではないか。

答弁　開始時期は教育委員会で協議し決定する。栄養士は嘱託員で可能と考える。

行革は市民生活を守る視点が重要　東大農場の自然環境を未来に残せ

倉根　康雄（共産）

一般質問（4）

保育園待機児問題は深刻！行政は整備計画を急ぐべき

藤岡　智明（共産）

質問　4月1日現在、市の保育所待機児数は179人、昨年比で45人増。一刻も猶予ならない事態だ。来年度は新園開設、建てかえで89人の受け入れ枠拡充となるが、今後の待機児対策を問う。

市長　現在、民間の保育園事業者から認可保育園設置（3園）と分園設置（1園）について相談を受けている。

今後は、民間の保育資源の活用も視野に入れながら待機児解消に努める。

意見　認可保育園を希望しても入れない子どもが多くいる。実態把握をして、民間任せでなく責任ある整備計画を急ぐべきだ。

質問　公設民営保育園の民間事業者に引き継ぎ後の市の指導、サポートについてどう対応するのか。

部長　保育園運営を円滑に行うため、保護者、受託法人及び西東京市による運営協議会を設置する。受託後も運営協議会により安定した質の高い保育を行うよう受託法人をサポートしたい。

農地保全について

質問　農地保全のため*生産緑地の再指定、体験農園や市民農園の普及を求める。

市長　生産緑地再指定については近隣市の状況を参考にしながら問題点を整理して検討する。体験農園、市民農園のバランスを考え開設を検討していきたい。

市民のための特色あるまちづくり安心して子育てのできるまちに！

山崎　英昭（民主・社）

質問　農産物や市内商工業者の製品など、特色ある商品を気軽に買いに来られるよう、道の駅のような販売所をぜひ設置すべきだ。

答弁　現在、都の補助事業として検討を進めている。

質問　調布保谷線のまちづくりに与える影響を考慮し、都市計画マスタープラン等の各種計画や教育委員会の計画の見直しを求める。

答弁　その時々の社会情勢などを踏まえて検討すべきものと考えている。

意見　いこいの森公園の噴水については、行政の姿勢が問われる大変重要な問題だ。今年の夏こそは子どもたちが楽しく水遊びができるよう粛々と手続を進めよ。

質問　警察とも連携し、自転車利用のルールの徹底を。


キャベツ畑

答弁　今後も連携を図りながら事故の減少に向けて取り組んでまいりたい。

質問　社会構造の変化により社会全体で子育てを担う体制の整備が必要だが、整備が追いついていない。子どもの減少に伴い保育の必要性も減るというのは誤った認識だ。時代の変化に合わせて変えるべきは、保育に欠けることを入所要件とする法のほうだ。こうした社会の変化に対応し、真の待機児ゼロを実現せよ。

答弁　民間の保育資源の活用も視野に入れながら待機児の解消に努めてまいりたい。

福祉的配慮の保育園へ学力向上を！職員の意識改革を

小峰　和美（無所属）

質問　保育園は本来、保育に欠ける児童のため福祉的な配慮に基づき設置されたものだ。近年その目的が薄れ生活困窮者の入園が難しくなっている。父親がリストラで求職中やパート就労者は指数が低く入園の優先順位が低い。保育園の入所は本来の福祉的目的に沿った「人にやさしい選考基準」にすべきではないか。

答弁　保育園が持っている本来の理念を忘れてはならないと認識を新たにした。

だれもが分け隔てなく入園できる環境整備が課題だが、真摯に受けとめ検討する。

質問　先進市を見習い学力向上に取り組め。

答弁　先進の秋田市の実践も含め、幼・保・小・中学校の連続性や発展性を実践に生かした取り組みや、学校・家庭・地域が一体となって教育効果を上げている事例を調査し、研究する。

質問　職員一人一人の資質を向上させ、持っている可能性や能力を最大限に引き出すことは市民へのサービスにつながる。市の対応は。

答弁　職員のやる気を引き出すことは、組織活性化に重要である。職員みずから課題を見つけ、グループで協力し解決に向けて実践し、全庁的に成果を発表する盛岡市の手法は興味深い。参考にさせていただく。


プールで遊ぶ園児

官民問わず社会を挙げて振り込め詐欺を撲滅！

二木　孝之（民主・社）

質問　警察庁捜査活動報告によれば、振り込め詐欺の被害総額は、平成20年までの5年間は約251億から284億円で推移してきたが、平成21年は約96億円となり前年の約1／3となった。

西東京市の被害状況と振り込め詐欺撲滅アクションプランへの取り組みは。

市長　西東京市では、平成20年は被害件数67件、被害金額約9千200万円、21年は19件で約3千200万円であり、約1／3に減少した。市においても田無警察署、防犯協会、自主防犯組織と連携し、市民の被害防止に向けた取り組みを進めている。

質問　義務教育就学児医療助成事業は、昨年10月の都制度改正時期から半年間、23区並みに所得制限をなくし実施してきたが、目的を達成していない中で事業を打ち切ったことは納得できない。優先事業として、補正予算で取り組む考えは。

市長　税源確保に好転が見込めない中、所得制限を撤廃することは非常に厳しい。

質問　中学校給食の開始時期は9月とすることが適当であるとの中間報告が、準備検討委員会から示された。開始時期は4月にすることを前提に検討するべきだ。

教育長　給食運営審議会の答申を年内にいただき、教育委員会で協議決定する。



行革、公契約の総合評価方式地域福祉計画等について問う

相馬　和弘（民主・社）

質問　合併による財政支援策も今後は縮小され、市税収入の増加も期待できない。本腰を入れた行財政改革の取り組みが不可欠である。具体的な施策を問う。

市長　受益者負担の適正化については、激変緩和に配慮し、市民へ説明責任を果たす。歳入確保として未利用の市有地処分に取り組む。

質問　市所有の自転車駐車場について歳入の管理を市が直営で行うべきでは。

部長　平成23年度の管理期間終了に合わせ検討する。

質問　契約、入札における総合評価方式の検討が示された。他市でも条例で契約先が障害者の雇用や環境への配慮、防災など地域への貢献などを考慮することを明確に規定している事例がある。市の方針はどうか。

市長　今年度中の試行実施に向けて検討を行っている。

質問　地域福祉計画では市を4つの圏域に分け、1圏域1人の福祉コーディネーターが約5つの小学校通学区域を担当する。今、民生委員やふれあいのまちづくりの世話人等担い手が少ない中で人材の確保は可能か。

市長　地域活動していただく方の発掘にはさまざまな課題があるが、*地域福祉推進員の研修等の開催を予定している。各団体へ伺い連携の輪に加わっていただく。

環境施策への取り組みの強化を！温暖化対策・市内交通環境対策

望月　伸光（民主・社）

質問　本年3月に西東京市地球温暖化対策地域推進計画が策定され、温室効果ガスを2000年度比で2020年度までに25％削減することを目標としている。計画の中で、市民・事業者・市の3者が主体となって協働で取り組むとあるが、西東京市では一般家庭からのCO_2排出量が増加していることが問題の一つとなっている。市民参加と啓発が重要と考えるが、市の考え方・方針について伺う。

答弁　一般家庭からのCO_2排出量は、全体の4割を占め一番多いが、情報提供やイベント実施など、地域に密着した活動を行うことで温室効果ガスの削減を行っていく。

提案　先日、視察に行った高知市では、「土佐から始まる環境民権運動推進協定」という活動があり、市民・事業者・市が一丸となった積極的な広報・啓発活動が行われている（協定を結ぶことでキャラクターのぼり旗の使用、ホームページでの紹介などの特典あり）。西東京市も参考にするべきと考える。

◇IH跡地と周辺の道路環境について

◇はなバスルート等の見直しについて

◇地域防災について

一般質問（5）

保育園の待機児対策にあらゆる保育資源を有効に活用せよ！

桐山　ひとみ（民主・社）

質問　私立保育園の運営経費にかかる財政負担は。

答弁　市内では5園の私立保育園があり、保育所の運営委託料は1園平均で約1億4千600万円である。特定財源の国庫支出金、都支出金、保育料を控除した後における一般財源としては1園平均約8千万円である。

質問　認可保育園の設置を希望する3事業者、分園の設置を希望する1事業者から相談があるが、事前相談のあった民間保育園がすべて開園すれば待機児はゼロになる推計はあるのか。

答弁　平成22年4月1日現在の待機児童数179名のうち0～3歳児が169名と待機児童のうち約94％を占めている。現在の経済状況が続くとさらに保育園の入所申込者が増加する。現在整備中の公立保育園と今回の計画を含めても待機児解消は難しいと思われる。

意見　さまざまな資源を活用し、待機児解消のための手段を選択いただきたい。

質問　3・2・6号調布保谷線の事業に伴う保谷5号踏切閉鎖工事における児童生徒の安全確保について。

意見　5号踏切部分について工事関係者、東京都から情報を収集し、工事の進捗状況を学校が細かく把握し、近隣住民、児童生徒の安全確保に努めてほしい。

利用者目線で検証・選考し質の高い民間委託の実現を！

大友　かく子（生ネ）

質問　生ごみの分別・資源化を進めよ。

答弁　段ボールコンポストの講座を予定。維持管理のアフターケアもしながら普及啓発する。

質問　保育園の民間委託は総合的な検証をすべきではないか。ガイドラインについても見直しを。児童館・学童クラブの委託先選定と指揮系統について。日曜・夜間開館もプロポーザルによる選考をすべきでは。

答弁　民間委託を円滑に進めるには保護者の理解を得ることが重要。ガイドラインは必要があれば見直す。児童館・学童は市民参加の選考委員会で仕様内容を固め、委託法人を決定する。下保谷児童館・学童、保谷第一学童は中町児童館が指導助言を行う。夜間開館は入札で事業者を決めた。今後も同様の方法で検討する。

質問　学校での性教育の実施状況と先生方の研修等の機会も含め、性に関する正しい知識の提供と相談体制づくりについての状況は。

答弁　児童生徒の発達段階に応じ学習している。全教職員が相談活動を適切に行えるよう環境整備を進める。

◇こもれびホールの運営について

◇公共施設での石けんの利用促進について

◇交通安全対策について

高齢者虐待の予防、養護者の支援
高齢者が尊厳を持って生きる権利

森　信一（民主・社）

質問　高齢者虐待の予防、未然防止、養護者に対する行政支援、高齢者が尊厳を持って生活する権利について問う。

市長　高齢者虐待と人権について、社会的な認識が不十分であるために、高齢者虐待を見過ごしたり、自覚のないまま虐待をしてしまう要因となっていることが課題であると考えている。

平成21年度から西東京市高齢者虐待防止連絡会を立ち上げ、虐待防止に関する施策の検討や関係機関との連携協力体制の整備を図り、高齢者の尊厳が守られるような福祉施策の充実に努めていきたい。



質問　現在、32都道府県156自治体でリフォーム助成制度が実施されているが、西東京市では行われていない。市内業者の仕事確保や市民サービスにもなると思うが、市長の考えを問う。

市長　個人の資産形成の直接的な補助は公平性に欠けるといった面もあり、慎重に対応する必要があると考えている。



男性向けの育児講座

質問　東伏見小学校の出前児童館の具体的内容について、地元の保護者と話し合いを進めているのか問う。

市長　学校、ＰＴＡ等の皆様からの要望、意見も踏まえ、現在、活動内容の検討を進めている。

男性が子育て・介護にかかわれる環境整備を！雨水活用を進めよ

板垣　洋子（生ネ）

質問　父親支援事業の課題と対策。庁内の育児休暇取得への環境整備について。

答弁　子育て広場を活用した父親支援事業の定着に努め、専門性の高い支援をしていきたい。職員を対象としたワークライフバランス研修を行う予定である。

質問　多胎児の家庭への支援は行われているのか。

答弁　専門的支援や活動場所の提供、サークルの立ち上げの支援にも努める。

質問　要介護者を抱える家族への支援とその対策は。

答弁　交流の場づくりや機会を提供し、介護者支援を行い、また、自主活動の家族会とも連携をとりたい。

質問　（仮称）障害者福祉総合センター周辺道路の安全確保についての対策は。

答弁　安全確保は課題であり、不便がないか確認する。

質問　地域の防災リーダー養成を展開せよ。

答弁　リーダー養成のための体制づくりを検討する。

質問　公共施設での雨水利用の周知と雨水活用への情報提供を行えないか。

答弁　市民への普及啓発について検討していく。

質問　洪水対策について。

答弁　自助・公助・共助が連携しながら豪雨対策を促進させる仕組みを検討する。

意見　ＩＨＩ跡地Ｂ敷地の計画変更の情報提供を行え。

用語の解説

※全国瞬時警報システム
緊急に対応が必要な自然災害や有事関係の情報を人工衛星を利用して地方公共団体に送信し、市町村の防災行政無線で住民へ瞬時に情報を伝えるシステム

※ティーボール
野球に似たゲーム。バッティングティーに置いたやわらかいボールを打つ。

※耳マーク



〔協力〕社団法人全日本難聴者・中途失聴者団体連合会

聴覚障害のある方が耳が不自由であることを表わすのに使用したり、自治体や銀行の窓口などに掲示し、聴覚障害のある方へ必要な援助ができることをお知らせするマーク

※ジェネリックカード
医師や薬剤師にカードを見せることで、新薬と効き目は同じで安価な後発医薬品（ジェネリック医薬品）を希望する旨を伝えることができる。

※安心こども基金
子どもを安心して育てることができる環境を整備するために都道府県に設置された基金

※マルチペイメント納付
公共料金、税金などをＡＴＭやインターネットバンキングを通して支払えるサービス

※市街化地域
既に市街地となっているか、おおむね10年以内に市街地化される区域。生活に欠かせない道路や上下水道などの整備が行われる。

※生産緑地
市街化区域内にある農地で、公害や災害の防止など、良好な生活環境を保全するために指定された土地

※地域福祉推進員
地域活動を推進するリーダー。地域で生じた課題を把握し、地域福祉コーディネーターと連携して問題の解決を目指したり、同じ地域内で活動するグループ同士をつなげ、地域のネットワークづくりを図る。



議会ミニミニ・NABI

Q「議会の傍聴って、どうしたらできるの？」

A「市議会の本会議・委員会は、とても簡単な手続きで傍聴することができます。」

まずは、会議当日に議会事務局受付（田無庁舎3階）にお越しください。住所、氏名等を「傍聴届」という用紙に記入いただき、引き換えに渡されるバッチを見えやすい場所に身につけていただくだけで、準備完了！！

市民の皆さんの代表である議員が、市政をチェックしている「臨場感」「緊張感」をぜひ1度ご覧ください。

（なお、会議が非公開となる場合や、傍聴席が満員の場合等、傍聴ができないこともあります。）

委員会の審査から、予算の審査から

委員会の審査から

議案や皆さんから提出された請願・陳情は、原則として所管の常任委員会等で審査を行います。ここでは、第2回定例会で議決された主な議案等の審査の概要をお知らせします。

企画総務委員会

「職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例」

【説明】 地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い、条例の規定を改正するもので、職員の配偶者の就業の有無等にかかわらず、育児休業の取得が可能となるものである。

【主な質疑等】

問 育児休業は、何回まで取得することが可能なのか。また、いつまでできるのか。

答 産後8週間後までの育児休業を含め、3回まで可能である。その場合は、育児休業等計画書の提出等が条件となる。育児休業は、子が3歳になるまで取得することができる。

問 育児休業中の職員に対する人員の補充は、どのようにするのか。

答 臨時職員を配置する等の対応となる。

【結果】 賛成全員で可決

「市税条例の一部を改正する条例」

【説明】 地方税法等の一部を改正する法律等の一部改正に伴い、条例の規定を改正するものである。

【主な質疑等】

問 市税収入への影響は。

答 扶養控除の廃止により、市税の収入は増となり、試算では年少扶養親族に係る扶養控除の廃止により、約4億5千万円、特定扶養親族に係る扶養控除の上乗せ部分の廃止により、約3千800万円という試算である。

問 33万円の扶養控除の廃止は、子ども手当の創設によるものなのか。

答 所得税（国税）については、そのような考えに立つものであると聞いている。住民税（地方税）については、税制上における整合性の観点から税制調査会の中で議論されたと聞いている。

【結果】 賛成全員で可決

文教厚生委員会

「保育所設置条例の一部を改正する条例」

【説明】 新規保育所として「市立そよかぜ保育園」を設け、「市立田無乳児保育園」については廃止する。その他、「市立すみよし保育園」の定員を20人増員するものである。いずれも平成23年4月1日からとなる。

なお、改正後における定員は、すみよし保育園が0歳児9人、1歳児20人、2歳児23人、3歳児24人、4歳児24人、5歳児26人で、合計126人、そよかぜ保育園は、0歳児12人、1歳児15人、2歳児18人、3歳児20人、4歳児24人、5歳児26人で、合計115人となる。

【主な質疑等】

問 待機児の約9割が0歳児から2歳児であるとのことだが、すみよし保育園とそよかぜ保育園において、0歳児から2歳児までの受け入れ人数を増やすことはできないのか。

答 保育室の面積基準があり、0歳児については、乳児室1.65㎡以上、匍匐（ほふく）室3.3㎡の合計で約5㎡が必要となる。

また、2歳児以上については1.98㎡以上が必要とされている。

0歳児、1歳児の受け入れが多くなると、全体的な面積の配分が厳しくなる。

【結果】 賛成全員で可決

建設環境委員会

「天神山停留所を起終点とする西武バス及び関東バスを、保谷駅前開発竣工後も運行の続行と、さらに東伏見駅前まで路線を延長するよう両バス会社に要請を求める陳情」

【趣旨】 天神山停留所を起終点とするバス運行の続行を両バス会社に要請すること。さらに東伏見駅前まで路線を延長するよう、両バス会社に要請することを求める。



【主な質疑等】

問 保谷駅前のロータリーが完成した場合、今までのかえで通り天神山の停留所・バスターミナルはどうなるのか。また、はなバスはどうなるのか。

答 バス会社から天神山の停留所・バスターミナルの関係は、今後も含め現在検討中という回答をいただいている。はなバスについては、今後、民間路線バスがどのようになるかによって不明な部分がある。

問 東伏見駅までの路線延長について、以前、かえで通りにバスを通すとき路面舗装を行ったが、天神山から東伏見駅までの部分も同様の整備が必要となるのか。

答 路線バスとなると、車の重さ等の関係から同様の整備が必要と考えている。

問 天神山から保谷駅でどの程度の利用者がいるのか。はなバスとの競合が問題になると思う。保谷駅から天神山までの間で時間当たり何本のバスが走っているのか。

答 路線バスの乗客人数は把握していない。はなバスについては第2・第3ルートの合体という形で集約されているため、そこだけの抜き出しは把握していない。路線バスの本数は1日約140本程度通過する。また、はなバス第2ルートは30分に1本走らせている。

意見 この路線は、特に中町・東町周辺住民の生活バス路線となっている。保谷駅前ロータリーの完成により以前の路線に戻されてしまうことを危惧する。利用する方々の切実な願いである。採択すべきである。

【結果】 「願意に沿うよう努力されたい」との意見を付し、趣旨採択



天神山バス停（中町4丁目）

「西武池袋線の連続立体化を推進する陳情」

【趣旨】 現在、石神井公園から大泉学園に向け高架工事が進められている。西東京市内も連続立体化事業を推進し、南北の交通をスムーズに。また、ひばりヶ丘駅・保谷駅周辺の活性化を図り、地元住民が安全で便利な生活と、住みやすい街とするよう求める。

【主な質疑等】

問 都の計画では保谷駅とひばりヶ丘駅は橋上駅となるが、この両駅間の一部区間は地上線路となる計画となっている。都道234号と交差する部分を、今、線路の下に道路を通すアンダーパス工事を行っているが、この地上線路となる部分も連続した高架となるよう東京都へ要請してもらいたい。

答 都が策定した「踏切対策基本方針」の中で、市内では4つの区間が「鉄道立体化の検討対象区間」とされており、この部分は、大泉学園～保谷駅付近、ひばりヶ丘～東久留米駅付近の計画中間地点で、計画ではこの区間は地上線路となっている。

市と都の連絡会においても、鉄道の下をくぐる単独立体の工事を進めるのがまず第一と伺っている。しかしながら、約4千名からの署名をいただいている調布保谷線が開通し、ある程度の時期になって、具体的な動きをしていく必要はあると考えている。

問 南北交通の円滑化以外に、今後連続立体化を東京都に対し求めていくための理屈づけの考えはあるか。

答 現在、具体的な考えはないが、道路渋滞の発生、地域の分断による生活の不便、まちづくりのおくれ、踏切事故の危険性、経済損失、環境への影響等が考えられる。

近隣市でも、道路が単独立体になっている部分も高架化されている例もある。スロープで下がってくれれば、その隣接する踏切は使えるのか、使えなくなるのか、また、一回下がって上がるということで、鉄道運行のスムーズさという点でも連続的に立体化されたほうがメリットはあるということは十分考えられる。

意見 連続立体になることは、バリアフリーにもなる。障害のある方が南北を移動するのに大変利便性も高まる。ぜひ念頭に入れていただきたい。採択すべきである。

【結果】 賛成全員で採択

駅周辺再開発等特別委員会

「ひばりヶ丘駅北口のまちづくりに関する請願」

【趣旨】 都市計画道路3・4・21号線（ひばりが丘駅北口線）の整備とともに、一番通り等ひばりヶ丘駅北口地区の道路改善（インターロッキング化等）を早期に進めることを求める。

【主な質疑等】

問 一番通りの整備について、どう考えているのか。

答 ひばりヶ丘駅北口地区街並み再生方針の拠点ゾーンにおいて「地域密着型の賑わい形成」、「快適な歩行者空間の確保」、「一体的な街並み形成」を掲げており、それらを踏まえて道路整備の検討をしていきたい。

問 インターロッキング化による整備が市としてできるのはどの道路で、いつからできるのか。

答 市道は主体的に、私道は地元の方の申請に基づき整備していく。時期は、都市計画道路3・4・21号線整備の進捗状況を見ながら進めていく。

問 請願では、東久留米市にも一方通行標示を希望しているが、どのような状況か。

答 標識はあるが、見えにくいため、整備が必要であると考えている。

意見 インターロッキング化を含め、利用者の利便性を考え、前向きに取り組んでいってほしい。

【結果】 賛成全員で採択

予算の審査から

第2回定例会では、6月16日に予算特別委員会を開催し、平成22年度補正予算の審査を行いました。

主な内容は、次のとおりです。

◆中小企業従業員退職金等共済事業特別会計

【説明】 歳入歳出予算の総額に、それぞれ8千135万1千円を追加し、歳入歳出予算それぞれ2億2千637万4千円とするもの。

歳入については、大口事業者において退職者がふえたことにより、掛金の収入が減る一方で、退職一時金の請求がふえ、これに対応するため、本事業の基金から、8千217万8千円を本予算に繰り入れるものである。

歳出については、この退職一時金への対応として、8千135万1千円を増額するものである。

【主な質疑項目】

・基金残高、大口事業者、今回の退職者数は。

・清算についての加入者への説明は。

・国制度への移行により清算が早まることがあるか。

【結果】 賛成全員で可決

委員会視察報告

各常任・特別委員会及び議会運営委員会では、他団体等における先進的な取り組み内容を調査研究することを目的に、先進団体の行政視察を行っています。
平成 22 年に行った委員会の視察を報告します。

委員会視察 REPORT

企画総務委員会

日程・視察先
4月19日　鳥取県境港市
4月20日　島根県松江市

報告者　企画総務委員長　山崎　英昭
参加委員数　9人

鳥取県境港市

「地域資源の活用手法と全国ブランド化」について

平成元年より緑と文化のまちづくりを検討していく中で、境港市出身の水木しげる氏が描くマンガに登場する妖怪オブジェを配置したロードの構想ができ、妖怪のオブジェ・モニュメント・絵タイルを歩道に設置し、親しみのある快適な道として整備した。市民の方に出歩いていただくことを考えていたが、テレビなどでも取り上げられ、全国から観光客が多く訪れる名所となった。


アニメのキャラクターにあふれたまちづくり

平成 16 年、観光協会を中心とする「妖怪ブロンズ像設置委員会」により、全国からスポンサーを募りブロンズ像を 100 体にする取り組みを実施したところ、全国から予想を上回る応募があり、35 体を追加設置した。

水木しげるロード関連の活性化事業として、テレビ・新聞・雑誌などマスコミへの積極的な情報提供など観光ＰＲ事業の強化、妖怪ガイドマップを利用したスタンプラリーの実施、レンタサイクル事業などを実施。

また、「水木しげるロード」関連事業の集大成として、平成 15 年に水木しげる記念館を開設した。

こうした取り組みもあり、昨年の観光客は年間 150 万人に達した。

今後の西東京市の活性化に参考にしていきたい。

島根県松江市

「松江オープンソースラボ（松江市開発交流プラザ）・広聴機能の充実」について

松江市では、市民の声・市長への手紙・メール等の個別広聴のほか、積極広聴として、だんだん市長室・まちかどトーク・市長と語るまちづくりを実施している。


松江市の視察の様子

また、平成 21 年６月より、「伺います係」を設置し、市民からの意見、要望等に対して、積極的に出かけて直接話し、解決を図ることとした。

松江市では平成 18 年に松江オープンソースラボ（松江市開発交流プラザ）を開設し、オープンソースサロンを開始。行政、大学、ＩＴ業界が連携して、松江市出身のまつもとゆきひろ氏が開発したプログラミング言語Ｒｕｂｙを活用した地域産業振興に取り組んでいる。地域の声を聞き、資源をいかしていくための参考としていきたい。

文教厚生委員会

日程・視察先
5月11日　山形県東根市
5月12日　山形県酒田市

報告者　文教厚生委員長　安斉　慎一郎
参加委員数　10 人

山形県 東根市

「さくらんぼタントクルセンター」について

東根市は、人口約４万６千人で、日本一の生産量を誇る「さくらんぼ」をはじめとした「果樹王国」である。

東根市は、自治体として平成 20 年第３回「にっけい子育て支援大賞（日本経済新聞社主催）」を受賞し、市の子育て支援策が評価されたものである。


さくらんぼタントクルセンター（東根市）

「さくらんぼタントクルセンター」は、その施策の中心施設として、平成 17 年４月に開設された市の代表的施設である。

この「さくらんぼタントクルセンター」は、大型遊具のある東北屈指の室内遊戯施設であり、開館からわずか３年で入館者数が 100 万人を超えた人気施設である。

市では、平成 20 年度から「子育て応援５つ星」として、妊婦健診費用助成の拡大、未就学児の医療費無料、休日保育の実施（満１歳以上）、小学生入院医療費の無料化（所得制限なし）、父子家庭の医療費無料化（所得税非課税の父子）等を行っている。

山形県酒田市

「酒田市高齢者虐待防止協議会」について

酒田市は、人口約 11 万３千人で、酒田港を中心とした都市である。

高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律の施行により、平成 19 年に「酒田市高齢者虐待防止協議会」が設置された。

西東京市では、過去に法律に基づく立入調査を行使する事案があったこともあり、その取り組み状況の把握を目的に視察を実施した。


酒田市の視察の様子

酒田市の協議会では、高齢者の「見守り」に力を入れており、社会福祉協議会を中心とした「草の根ネットワーク」をつくり、地域の高齢者問題に対応している。

また、酒田市では高齢者虐待に関する相談、連絡等の受け皿として、独自に「介護相談員」を置き、対応をしている。

市の調査では、息子による虐待が多く、その要因としては、介護負担や経済的なものとのことであった。

建設環境委員会

日程・視察先
5月11日　高知県南国市
5月12日　高知県高知市

報告者　建設環境委員長　小幡　勝己
参加委員数　9人

高知県南国市

「地域資源の活用方法と地域振興」について
～やなせたかしロードとごめん生姜地蔵建立事業等

商店街の空き店舗率が増え、店舗が住居となっているケースも多く、シャッター化が進んできた。地域活性化のための自治体活動団体の育成に関する条例制定をし、みずからの発想と行動により地域をよくするように組織の結成を促し、「ごめん町づくり委員会」が結成された。後免町商店街を「やなせたかしロード」と命名し、漫画家のやなせたかし先生がデザインした、生産全国１位の生姜をキャラクターにした「ごめん生姜地蔵」やアンパンマンなどの石像を設置した。さらに道路を歩行者天国にして、「地産地消ごめん軽トラ市」を開催し、地元産の野菜や果物などを販売した。


南国市のアンパンマンの石像

ゆず商品、枇杷（びわ）の種でのリキュールづくり、トマトだけのカレー、ごめんしょうがあめ、ごめんしょうがせんべいなどいろいろ試みており、シャモ鍋では全国のお国自慢鍋が味を競う埼玉大会で優勝した。

このように、ごめんブランド化等さまざまなアイデアを出して、まちおこし、商店、地域産業の活性化に挑戦している。地域力活性化のために知恵を出し合い、住みやすい元気の出るまちづくりを考える上で、地域資源の活用方法と地域振興について大いに参考になった。

高知県高知市

「土佐から始まる環境民権運動推進協定」について

高知市地球温暖化対策地域推進計画は、次世代の子どもたちによりよい地球環境を引き継ぐことを目的に、量販店、市民団体、高知市が協定を締結し推進していく。

量販店は、ごみ発生抑制の８項目の取り組みを実施する。①レジ袋の削減②容器包装の削減③再生可能なプラスチック類等の自主回収・リサイクルの推進④環境・リサイクルを考慮した商品の積極的な販売⑤ごみの減量、分別及びリサイクルの実施⑥従業員への環境教育や啓発活動⑦地産地消の推進⑧資源循環型社会の形成に向けた事業活動


高知市の視察の様子

市民団体は、環境に優しい消費行動をし、高知市は、成果を広報するなど啓発に取り組む。地球温暖化対策地域推進計画に取り組む上で、事業者等の環境民権運動を参考にしたい。

駅周辺再開発等特別委員会

日程・視察先
6月24日　大阪府大阪市
6月25日　大阪府豊中市

報告者　駅周辺再開発等特別委員長　新井　五郎
参加委員数　10 人

大阪府大阪市

大阪市では、三国駅周辺地区土地区画整理事業、淡路駅周辺地区土地区画整理事業、阪急電鉄京都線・千里線連続立体交差事業の３整理事業等について視察を行った。基本コンセプトを「創造とやすらぎのあるまちづくり－都市とともに憩い潤うまち－」と、公共施設用地を買収することなく土地の所有者などから少しずつ土地を提供してもらい「土地の交換分合」という手法によって、施行地区内の道路や公園等の公共施設と宅地を一体的・総合的に整備する方法である。「淡路駅周辺地区土地区画整理事業」と「阪急電鉄京都線・千里線連続立体交差事業」は、阪急電鉄京都線・千里線連続立体交差事業に合わせ、淡路駅周辺の交通の円滑化と安全で快適な歩行者空間の確保、並びに防災性の向上、健全な市街地としての整備を図るため駅前広場、幹線道路、公園等の公共施設整備改善と駅前街区における土地の高度利用の促進と周辺部における良好な住宅地としての整備を図ることを目的としている。事業期間は、平成 32 年完成を目指し、淡路駅前線・幅員 16m・阪急付属街路淡路駅前線・幅員６m。駅前広場約 4,800㎡の整備で、公園を２つつくり、あわせて阪急京都線と千里線連続立体交差事業を行うものである。平成９年に用地買収に着手したが、除却踏切が 17 カ所を数えるなど気が遠くなる計画である。


現在の淡路駅周辺の様子

大阪府豊中市

豊中市「野田地区まちづくり」は、「第３次庄内地域住環境整備計画」として立ち上げ、安全・安心のまちづくりが進行中で、現在、一部完成を見た。地域で不足している公共・公益施設の整備や、住環境の改善に取り組み、防災指標を目標に策定①防災性の向上、②庄内駅周辺整備など適宜その事業効果や達成度についての検証を行い③少子・高齢化への対応④居住者が主体となるまちづくり活動への転換を図る。


整備された野田地区の視察

両市とも災害に強い街づくりを目指していた。

この特別委員会は、今回の視察を大きな力にかえ、一層、協力し合い、市民の皆さんに喜んでいただける委員会として精進していきたい。

議決結果（議案、請願・陳情）、意見書、会議の開催状況、お知らせ

第２回定例会 議案の議決結果一覧

○賛成 ×反対

件名＼会派（ ）は所属議員数		西東京自由民主党（8）	西東京市議会公明党（6）	民主党・社民クラブ（6）	日本共産党西東京市議団（4）	生活者ネットワーク（2）	無所属・市民の目（1）	無所属・市民派無所属（1）	無所属・市民会議（1）	結果
予算	・中小企業従業員退職金等共済事業特別会計予算（第１号）	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
条例改正	・職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例 ・職員の育児休業等に関する条例 ・職員退職手当支給条例 ・国民健康保険条例 ・保育所設置条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
条例改正	・市税条例	×	○	○	○	○	○	○	○	可決
その他	・市税条例の一部を改正する条例の専決処分について ・都市計画税条例の一部を改正する条例の専決処分について ・国民健康保険条例等の一部を改正する条例の専決処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
その他	・工事請負契約の締結について（2件）	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
その他	・市道路線の変更・認定について（8件）	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議員提出議案	・都市再生機構賃貸住宅への定期借家契約導入を行わないよう求める意見書	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
議員提出議案	・30人程度学級の実施を求める意見書 ・障がいのある子どもたちの教育条件改善を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議員提出議案	・「慰安婦」問題について、国が誠実な対応をすることを求める意見書	×	○	○	○	○	○	○	○	可決
議員提出議案	・ばらまき政策を排し、財政の健全化を求める意見書	○	○	×	×	×	×	○	○	可決
議員提出議案	・後期高齢者医療制度の速やかな廃止を求める意見書	×	×	×	○	×	○	×	×	否決

請願・陳情の結果（）は付託委員会

採択されたもの

○ひばりヶ丘駅北口のまちづくりに関する請願（駅周辺特別）

○都市再生機構賃貸住宅への定期借家契約導入反対の意見書採択に関する陳情（建設環境）

○天神山停留所を起終点とする西武バス及び関東バスを、保谷駅前開発竣工後も運行の続行と、さらに東伏見駅前まで路線を延長するよう両バス会社に要請を求める陳情〈趣旨採択〉（建設環境）

○西武池袋線の連続立体化を推進する陳情（建設環境）

○西東京市内における下水道の生活雑排水が石神井川に流れ込む状態を改善することに関する陳情〈趣旨採択〉（建設環境）

○向台町大型マンションの建設に伴う待機児増加の解消を求める陳情（文教厚生）

○西東京市図書館に関する陳情（文教厚生）

不採択となったもの

○総務部管財課所管の西東京市役所田無庁舎の総合管理業務委託契約に関する陳情（企画総務）

○議員・市長等特別職の期末手当について現行の２割増し支給を廃止し、毎年の財政運営の成果に応じて支給額を決定できるよう関係条例の改正を求める陳情（企画総務）

継続審査となったもの

○食料の自給力向上と、食の安全・安心の回復に向けて、食品表示制度の抜本改正について国への意見書提出を求める請願（文教厚生）

○いこいの森公園の噴水に関する陳情（建設環境）

○CO_2の25％削減の国際公約実現に協力するため、太陽光発電装置の設置を普及・促進するための条例制定を求める陳情（建設環境）

取り下げ

○ひばりが丘北口のまちづくりに関する陳情（駅周辺特別）

今定例会で可決した意見書

都市再生機構賃貸住宅への定期借家契約導入を行わないよう求める意見書

【提出先】内閣総理大臣、国土交通大臣、独立行政法人都市再生機構理事長

30人程度学級の実施を求める意見書

【提出先】東京都知事、東京都教育長

障がいのある子どもたちの教育条件改善を求める意見書

【提出先】衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣

「慰安婦」問題について、国が誠実な対応をすることを求める意見書

【提出先】衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、科学大臣

ばらまき政策を排し、財政の健全化を求める意見書

【提出先】衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、国家戦略担当大臣、厚生労働大臣、行政刷新担当大臣、内閣官房長官

お知らせ

禁止されています！

議員の寄附行為や時候のあいさつ状

議員は、選挙区内の方に対する次の行為が禁止されています。

◇お金や物の贈答
◇暑中見舞、残暑見舞等の時候の挨拶状の送付（答礼のための自筆によるものは除く）
◇地域のお祭り・会合等への差し入れ、お祝金、賛助金を出すこと



市民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

○**第３回定例会の開催**

９月３日（金）から開催する予定です。

詳細については、決まり次第ホームページに掲載しますので、ご覧ください。

請願・陳情は８月27日（金）までにご提出ください。

請願・陳情はいつでも受け付けていますが、第３回定例会で審査を行うためには、８月27日（金）までにご提出をお願いいたします。

詳細は、議会事務局までお問い合わせください。

お詫びと訂正

前号（第42号　平成22年５月１日発行）７ページの写真掲載（ひばりが丘運動場）に誤りがありました。

掲載した写真は、ひばりが丘運動場に隣接した場所のものでした。お詫びして訂正いたします。

会議の開催状況（平成22年４月～６月）

４月

13日　議会報編集委員会

５月

６日　駅周辺再開発等特別委員会

６月

１日　議会運営委員会
４日　**第２回定例会**・本会議（議案等上程～議決、付託）、議会運営委員会、予算特別委員会、会派代表者会議、議会報編集委員会
７日　本会議（一般質問）
８日　本会議（一般質問）
９日　本会議（一般質問）
10日　本会議（一般質問）
11日　文教厚生委員会、建設環境委員会
14日　企画総務委員会
15日　駅周辺再開発等特別委員会
16日　予算特別委員会、議会運営委員会
21日　本会議（委員会審査報告、議員提出議案等上程～議決）、議会運営委員会

編集後記

今年の夏は記録的な猛暑が続き、全国各地で熱中症と見られる患者が続出しています。また、犠牲者の数も平成19年から増加傾向にあります。特に高齢者は水分の補給など、体調管理に努めていただきたいと思います。

さて、議会報編集委員会では、議会の様子が市民の皆様方に少しでも分かりやすく、またご理解していただけるよう、限られた紙面の中で編集させていただきました。これからもより良い紙面づくりに努めてまいりますので、市民の皆様方からのご感想やご意見をぜひお聞かせください。また紙面に掲載する写真も募集しております。（O）

R70 古紙配合率70%再生紙を使用

お問い合わせ
議会だよりについて　議会事務局庶務調査係　☎042-460-9860
傍聴等について　議会事務局議事係　☎042-460-9861

市議会ホームページ
http://www.city.nishitokyo.lg.jp/sigikai/index.html